

教育カウンセラー沖縄

〒902-0061 沖縄県那覇市古島 1-14-6 教育福祉会館内 電話 098-884-2578 代表：川上啓一

1：教育カウンセリング夏期講座

2015年度夏期講座は、8月1日から8月25日にかけて15コマの講座を設定しました。今年度の受講総数は約414名で、昨年度より約80名増えて学びの夏となりました。しかし、8月25日に開催予定であった岡田弘先生の招聘講座「構成的グループエンカウンター～体験ワークショップ」は、台風の影響で中止となり、残念でした。

また、開催会場が3箇所となり、8月16日の長田清先生の「解決志向アプローチ～不安・恐怖と平静・勇気」が、近隣大渋滞で（浦添市プレミアム商品券の販売と重なったため）講座開始時間遅延・受講料割引となりました。受講者の皆さまには、ご迷惑をおかけしました。今年度の反省をもとにこれからも、よりニーズに即した講座を提供したいと思います。講師の先生方、受講者の皆さま、ありがとうございました。



各講座振り返り（アンケートより印象に残った事・分かった事・気づいた事の抜粋）

<教育カウンセラーへの道> 渡久地政順（沖縄キリスト教学院短期大学名誉教授）

“有縁を渡すべし” / カウンセリングのやり方は、カウンセラー自身の人格の表れである—深く認識しました / フロイトやロジャースの立場や関係がおもしろかった / 基本の理論をきちんと学んだ上で折衷主義を学ぶ / 勉強し続けるカウンセラーでありたい

<ひたすら自分を知る講座> 神保しげみ（上級カウンセラー）

性格の違いは、興味関心の優先順位の違い / どれも、誰もそれで良いということカラーセラピーや風景構成法で自分の今の潜在的思考も垣間見ることができた / イメージワークでは自分でもびっくりする場面がありました / どのワークも実践的でした

<支援者のためのリフレッシュ講座～陶芸体験学習～> 幸地良丈（上級カウンセラー）

何かに集中することは“無心”になれるということ / 土を触ったり、何かに夢中になったり没頭するとすごくリラックス・リフレッシュできました / 子どもたちの気持ちが分かりました。 / 一つのことに向かう時間を共有すると自然にコミュニケーションできた

<教師を手こずらす子どもたちへの対応> 喜瀬乗進（上級カウンセラー）

教師自身がリラックスすることが大事 / 遊び心を持って生徒と接するという / リーダーを育てることの大切さ / いろんな体験からのお言葉が力強かったです / 子どもとつながっていく実践がたくさん学べた / 笑った後は周りの先生方との距離が縮まった

<保護者と楽しくつきあうスキルの学習> 喜瀬乗進（上級カウンセラー）

親との関係性をつなぐには、まず子どもとの関係をつくることが大事／マニュアルでもテクニックでもない、自分流でつくることの大切さ／遊びは学び／子どもとの信頼関係がベース／“そうですねワーク” すぐにでも使いたい

<たのしく学ぶインディビジュアル・サイコロジー／アドラー心理学>

喜友名一（たのしい教育研究所所長）

「原因」探しではなく「目的」をさぐる／シートを使った不安や悩みの解決の方法／勇気付けのレッスン／「褒める」ではなく「勇気づけ」／感情を伝える手段としての言葉の大切さ／LEAPカウンセリングをはじめて知った／時間を忘れるくらい楽しかった

<“気になる子ども”の理解とその対応> 佐久川博美（那覇市療育センター臨床心理士）

乳幼児の発達特・特性について詳しく把握することができた／愛着形成の大事さを学びました／実践の現場での事例が多くてわかりやすかった／発達障がいの子の特性／中学生を見ていて、乳幼児期の発達段階の積み残しが分かりました／虐待された子の行動特徴

<保育カウンセリング>

兼城照美・友利香代子（上級カウンセラー）

教師として子どもだけではなく保護者のケアをしていく方法／リフレーミングが難しかったが、短所を長所として言って貰えて嬉しかった／バウムの絵を描いたこと。読み取り方。自分の内面にどんなことがあるか楽しみです／絵は自由に描きそのまますを認める

<いきいき臨床美術体験～作品を楽しみながら脳を活性化～>

仲本イツ子（上級カウンセラー）・眞榮田壽賀子（臨床美術士）

単純な指示から入っていくが、表現の仕方は無限／アナログ・フローターージュのおもしろさ／出来映えよりも過程を大事にする／ついつい援助や指導をしてしまいがちだと気づいた／すぐ現場でも使えそうなので良かった／心から感動しました

<Q-U式学級・授業づくり～学級担任・教科担任がチームで活用するアイデア～>

濱川尚子・仲里直美（中学校教諭）

K-13法をグループで実践したこと。様々な意見を出し合って解決法を見つけるまでの過程がとても楽しかった／理論と実践が結びついたことで、本を読んでも分からなかった事も理解に結びついた／学級を客観的に分析することの重要性／Q-Uの見方、PM理論

<グループ・スーパービジョン>

仲村将義（上級カウンセラー）

インシデント・プロセス法での事例検討／スーパービジョン・コンサルテーション・教育分析の違いをはじめて知った／解決をつくる質問の方法が、すぐ使えるので良かった／チーム支援シートの活用／難しい子どもたちに対する支援方法を得る事ができました

<解決志向アプローチ ー不安・恐怖と平静・勇気ー>

長田清（精神科医）

「WHY?なぜ?」でなく「HOW?どのようにしたいの?どのようにしたの?」という考え方／ネガティブ感情も大事なことだと理解できました／不必要な感情は無い、ということ／エンパワーメント（元気づける）／セルフコンプリメント／グループワークが良かった



2：教育実践交流会 8月15日（土）9：30～12：00

今年度も素晴らしい教育実践交流会を持つ事ができました。4名の先生方の実践活動は、お一人25分の持ち時間ではとても収まらない豊富な内容でした。実践に学び、明日へのヒントを得る事ができました。発表者の先生方、ありがとうございました。「来年こそは発表を・・・」とお考えの会員の方は、事務局までお知らせ下さい。次年度の発表者を募集しています。また、中級以上の資格取得を目指している方も、ご自身の活動の振り返りの機会としてご活用下さい。資格取得に必要なポイントとしてカウントされます。

領域	発表者	テーマ
相談援助	名嘉良壯 (浦添市青少年課)	「行動が継続しないAさん」
小学校	屋良真弓 (翔南小学校)	「チームワーク NO1 ～学び合い、育て合いのある集団作りを目指して～学級経営・教科経営、両面から」
中学校	横田純子 (長嶺中学校)	「校内適応指導教室における実践 ～頑張ったことの見える化・つなぐ化～」
高等学校	比嘉恵子 (美来工科高等学校)	「学校における教育相談体制確立の取組～校内組織の活用と校内研修を通して～」

<参加者の声>

- ・名嘉先生の発表の、個別対応の丁寧な相談ケースが参考になりました。長期に渡り家族も含めた支援に頭が下がりました。資料も持ち帰れないので、もっと時間が欲しいです。
- ・屋良真弓先生のメッセージカードを使った「先生、見てるからね！」をたっぷり伝えた仕掛けを、私も実践してみたいと思いました。
- ・横田先生のパワフルさ、人と人をつなぐ力、子どもを思う気持ちがとても伝わりました。ぜひ同じ職場で働きたいと思いました。
- ・比嘉先生の学校全体へ働きかける教育相談の役割が勉強になりました。お土産の素晴らしい参考資料がありがたかったです。貴重な資料になります。

3：総会

実践報告会に引き続いて総会が行われ、2015年度の事業報告、決算報告、監査報告の後、2016年度の事業計画案、予算案が提案され、参加者全員の拍手でもって承認されました。尚、今年度は役員の変更も行われ、川上啓一先生（北谷町教育委員長）が新代表に選出されました。

【川上啓一 新代表挨拶】



今年の総会を経て沖縄教育カウンセラー協会・代表となりました川上啓一と申します。しばらくは、北谷町教育委員会の職務と平行しての参加となりますが、会員の皆様にはご理解とご協力をお願い申し上げます。

これまで、幼稚園、小中学校の教育現場や教育行政の業務を通して、学校の取り組み、先生方・子どもたちの悩み、そして、多様な教育課題などを見て参りました。現在も、学校現場と意識を共有しながら課題解決と学校支援に結びつける教育行政に取り組んでいるところです。

新たな課題として、学級・学校不適応、問題行動のエスカレート、指導に対する反発から教員とのトラブルに発展する問題に発達障がいとの関連性が見え隠れします。学校においては、発達障がいの具体的で正確な基礎知識と対応スキルが問題解決を長引かせずに、学級や学校の安定につなげることを知っていただきたいと思っています

また、会員の皆様とは、夏期講座等の様々な観点からの講座内容が、学校における様々な課題（いじめ、不登校、学級崩壊、問題行動等々）に対し改善の道筋をつけ解決へと導く力を持っていることを改めて認識の共有を図りたいと思います。

今後は、沖縄教育カウンセラー協会の役割が、様々な問題が発生した場合の緊急対応、中長期的対応だけでなく、予防的・開発的な取り組みや教育相談、教師や子どもたちへの支援・援助に役立てることを、教育関係者をはじめ、家庭、地域やその他の組織団体に啓発できたらと思っています。

最後に、会員の皆様のご健勝と今後のご活躍に期待を申し上げ挨拶とさせていただきます。

代	表	：	川上	啓一
副	代	表	：	神保 しげみ・喜瀬 乗進
会	計	：	稲葉	律子
養成講座委員長	：	下門	美恵子	
夏期講座委員長	：	照屋	初美	
SGE委員長	：	稲葉	律子	

以上6名の新体制と、理事の方々と力を合わせ、沖縄教育カウンセラー協会の活動を支えてまいります。会員の皆様のより一層のご協力を宜しくお願い申し上げます。

4：教育講演会 8月15日（土）14：00～16：00

演題： 「うちの火星人」に気づいたとき

講師： 平岡禎之氏 ・ 平岡ワッシーナ氏



講演会終了後、
ご長女のニャー
イさんと一緒に

平岡禎之さんのブログ「地球人なりきりスーツ」
<http://ameblo.jp/mikunipapa/>
もご覧あれ。日々のあれこれが紹介されています。



参加者約70名となり、それぞれが発達特性を持つ平岡家への関心の高さと平岡氏のマンガエッセイの人気ぶりが感じられました。家族の愛情は勿論のこと、それぞれの特性を生かした生き方、美しい映像・音楽・丁寧な言葉の伝え方も印象に残る火星人ご家族の講演でした。以下は、参加者の声です。

- ・子どもたちの気持ちを代弁していただいた様な気がしました。
- ・トラックに引かれるくらいの疲労を感じていることは知らなかった。
- ・「地球人は全自動・火星人は手動」。子どもたちには「手動」苦しさがあること。
- ・ドーパミンが出にくい。褒めるとドーパミンが出やすくなる。
- ・特性を受け入れ、個に応じた工夫が大切だと感じた。
- ・当事者の方の話を聞く機会は、ほとんど無いのでとても貴重な時間でした。
- ・まずは理解しようとするところから始まる。
- ・生きているだけでありがたい。理解しているつもりで、対応しているつもりの方に気づきました。
- ・地球人・火星人の子どもも、大人も生きやすいように、今日学んだことを仕事・プライベートで生かしていこうと思います。
- ・火星人の困り感を伝え続けている平岡ご夫婦の活動に感銘を受けました。

5：定例会

今年度は、4つの定例会を開催します。日程が変更になる場合もありますので、開催日2日前の木曜日までに、事務局にお申し込み下さい。申し込みが無い場合、開催されないこともございますのでご了承ください。尚、会費として1回につき500円いただきます。

① 初級対策講座

担当：下門 恵美子・波平 利美
内容：初級テキストを使い、各章の要点を押さえて学びあう。

期日：11月14日（土） 波平
28日（土） 波平
12月12日（土） 下門
26日（土） 下門

時間：13:30～16:30

※できるだけ全日程の参加をお願いします。

② 中級対策講座

担当：神保 しげみ
内容：中級テキストを使用した理論についての学習

期日：10月24日（土）13:30～15:30
11月7日（土）9:30～12:30
21日（土）9:30～12:30
12月5日（土）9:30～12:30
26日（土）9:30～12:30

※10月24日のみ午後です。お間違いなく。

※12月26日は筆記試験対策を行います。

※できるだけ全日程の参加をお願いします。

③ SGE理論と学級経営

担当：石川 喜代美
内容：SGE理論、学級経営（Q-U）

期日：毎月第4土曜日
時間：9:30～12:00

④ カウンセリング事例研修会

担当：伊徳 清包
内容：事例検討会を含むカウンセリングについての学習

期日：毎月第3土曜日 13:00～15:00
場所：浦添市社会福祉協議会

ふれあい相談室

（会場が変更になる場合がありますので、ご参加の際は、必ず木曜日までに事務局に申し込みをしてください。）



6 : S G E 宿泊体験について

日 程 : 2016年3月19日(土) ~ 21日(月・祝) 2泊3日
場 所 : 聖クララ修道院 与那原町字与那原 3090-4
リーダー : 岡田 弘 (東京聖栄大学教授)

※詳細については後日お知らせいたします。

沖縄支部では、S G E 宿泊体験への参加を中級の受験者の必須条件と位置付けております。子ども達へのS G E 実施の際においても、この宿泊体験での気づきが生きると確信しております。

7 : お願い

○年会費について

会員の皆様にお納めいただいている年会費(3000円)は、沖縄教育カウンセラー協会の活動を支える主要な財源です。協会の継続・発展のためにも皆様方のご協力を切にお願い申し上げます。尚、**年会費3年分未納の場合は自動的に退会**となります。会費納入状況をご確認希望の方は事務局までお問い合わせください。

○キャンセルについて

各講座の申し込み、キャンセルは(可能なかぎり)各講座開催の3日前までにお願いします。

定員に満たない講座は、当日参加も受け付けております。学びたいときが学ぶとき!で、会員の皆さまには、ふいに思い立った時にでも、研修の機会を提供したいと考えています。また、ご自身の急な体調不良や仕事・家族の都合で、申し込みはしたものの当日不参加の場合もあるかと思えます。夏期講座では、キャンセル料金は頂いておりません。しかしながら、資料の印刷や会場の大小は、申し込み人数に合わせて準備を進めています。資料や準備物の過不足が生じておりますので、事前にお知らせいただけますようお願いいたします。

尚、せつかくのお電話に対応できない時があります。申し訳ありません。

沖縄教育カウンセラー協会の常勤スタッフは、事務局の1人です。夏期講座や養成講座の運営は、理事がボランティアで行っております。講座期間中は、当日にキャンセルの電話連絡を頂いても、会場準備や受け付けなどで出払っていて対応できないときが多く、心苦しく思います。今後は、留守番電話機能やメールでの受付などの検討をしていきたいと考えています。本業仕事の合間をぬっての活動には、至らない点が多くありご不便をおかけしますが、今後も会員の皆さまと共に教育カウンセリングの普及に努めて参ります。ご理解とともに、率直なご意見・新たなご提案もありましたらお聞かせ下さい。

秋来ぬと 目にはさやかに見えねども
風の音にぞ おどろかれぬる
(藤原敏行・古今和歌集)

【編集後記】

朝夕の涼しさに季節の移ろいを感じられる季節となりましたね。どうぞ皆様、ご自愛専一にお過ごし下さい。

JECAO

特定非営利活動法人 日本教育カウンセラー協会沖縄支部

〒902-0061 沖縄県那覇市古島1-14-6

電話 098-884-2578 FAX 098-885-0783

メールアドレス jecaokinawa@otc.ne.jp

ホームページ: <http://www.otc.ne.jp/~npo-oeca/>